



U.S. Embassy Reference Service 招待状

〒107-8420 東京都港区赤坂1-10-5
米国大使館レファレンス資料室

Tel: 03-3224-5293 E-mail: TokyoircDesk@state.gov

米国大使館レファレンス資料室主催

第5回シンポジウム

開かれた政府:オバマ政権下の情報公開

- ◆ 日時 2010年6月14日(月) 18:30-20:15 (18:00から開場いたします)
- ◆ 場所 東京アメリカンセンター・ホール(東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル8階)
地図: <http://tokyo.usembassy.gov/j/amc/tamcj-map.html>
- ◆ 講師 トーマス M. サスマン Thomas M. Susman (米国法曹協会政務部長)
- ◆ 司会 宇賀 克也 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
- ◆ 共催 専門図書館協議会関東地区協議会

オバマ大統領は大統領就任直後の2009年1月に、透明性・国民参加・協業を3つの柱とする「開かれた政府」を目指す覚書に署名しました。さらに「Open Government Initiative」を各省庁に出し、より一層の情報公開に向けた具体的な措置を指示しています。

このシンポジウムでは、開かれた政府の促進のために長年活動を行ってきた、全米法曹協会の政務部長のトーマス M. サスマン氏をお招きし、前政権とは大きく異なるオバマ政権下の情報公開政策について、サスマン氏の経験を交えながらお話いただく予定です。また、政権発足後1年余りを経た政府の情報公開の進捗状況に加え、今後の展望や課題についてもお話いただく予定です。質疑応答の時間も設けております。皆様のご参加をお待ちしております(定員100名、同時通訳付、参加無料)。

参加ご希望の方は、6月9日(水)までに下の登録ページからお申込みください。追って受付確認のメールをお送りいたします。

登録ページ: <http://japan.usembassy.gov/j/irc/ircj-signup-20100614a.html>

トーマス M. サスマン 米国法曹協会政務部長 — 2008年現職に着任。それ以前はワシントンのロープス&グレー法律事務所の共同経営者。1974年の情報自由法(FOIA)の改正法案作成に関わり、その後も情報自由法改正に関する議会公聴会の証言を多数行なう。長年にわたるサスマン氏の「知る権利」、「開かれた政府」に対する活動と実績をたたえて、全米図書館協会(ALA)から2009年「ジェームス・マディソン・アワード」を受賞。イェール大学出身。テキサス大学法科大学院より法務博士を取得。

▶ **個人情報の取り扱いについて** ご記入いただきました個人情報は、当資料室が管理し、今後は米国大使館/東京アメリカンセンターの講演会・セミナー会合等の案内のみに使用いたします。